405967-00 (R (07)

シングルレバー式混合栓 ▼K KM8001(Z)UTFEC〈各仕様共通〉 施工説

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。 この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

- ●ここに示した **│<u>↑</u>↑ 注 意**│ は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。 いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはい けない「禁止」の内容です

この絵表示は、必ず実行して ・ この総表示は、必ずることでは、 かんだく「強制」の内容です



配管が右側、給湯配管が左側に配管

されていることを確かめてください。 給湯に蒸気を使用しないでくだ



器具が破損して、やけど、漏水 のおそれがあります。

器具に強い力や衝撃を与えない

器具が破損し、漏水で家財など

を濡らす財産損害発生のおそれ

でください。

があります。

禁止

給湯温度は85℃より高温で使用 しないでください。 85°C

85℃より高温でご使用になると、 水栓の寿命が短くなり、破損し て、やけどをしたり、漏水で家 財などを濡らす財産損害発生の おそれがあります。

より高温

寒冷地仕様の場合 水抜きつまみは水抜き以外の目 的で開けないでください。



水抜きつまみをいきなり開けますと 高温の湯が出てやけどをしたり、湯 水が噴き出して、家財などを濡らす 財産損害発生のおそれがあります。

他所の水栓の使用等により水圧 めっき部品は、ぶつけたり落とした 変動が起こり、湯の使用中に湯 りしないでください。また、鋭利な 物や硬い物を当てないでください。



を示すものではありません。

めっきの表面が割れて、けがを するおそれがあります。

加工および接合、市販浄水器具 の取り付け等の改造はしないで ください。



たり、漏水で家財などを濡らす財 産損害発生のおそれがあります。 配管などの解氷のため解氷機をご使 用の場合、水栓(給水・給湯管含む)



通電すると水栓や給水・給湯管が 発熱し、破損して家財などを濡らす 財産損害発生のおそれがあります。

温が急上昇することがあります。

やけどのおそれがありますので、やけ どのおそれのないところまで水圧変動 をおさえた配管設備にしてください。

◎—17

逆止弁付仕様

1ページ

配管接続部をテーパねじに接続 しないでください。



テーパねじに接続すると、接続部が ゆるんだり、パッキンが切れたりし て、漏水で家財などを濡らす財産損

害発生のおそれがあります。 小型電気温水器(即湯器)等に給 湯ホースを接続する際は、ステ



注

高温の熱により給湯ホースの寿命が 短くなり、漏水で家財などを濡らす 財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、一般地仕様をお使い の場合、少量の水を出しておくか、配管に布 を巻くなどして、凍結を防止してください。 寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操 作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。



水抜きしないと凍結破損で漏水 し、家財などを濡らす財産損害 発生のおそれがあります。

めっきの表面が割れた場合は使 用しないでください。

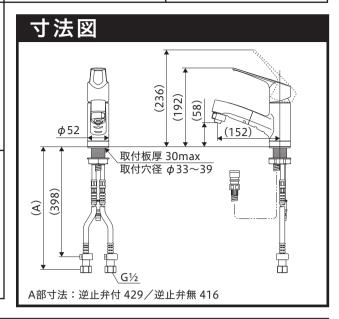


けがをするおそれがありますの でただちに使用を停止し、新し い部品に交換してください。

止水栓取り付け箇所や給水・給湯管 との接続箇所は、点検口を設けるな ど点検しやすい状態にしてください。



点検ができないと万一漏水発生時 には発見が遅れて家財などを濡ら す財産損害発生のおそれがあります。

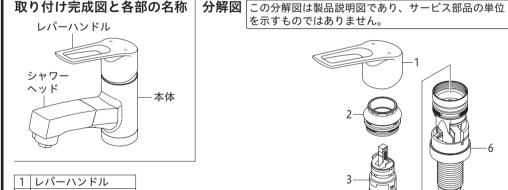


取り付け前に

- ① 使用水圧〔A=(給湯器の最低作動水圧)+(配管圧力損失)〕
- (1) 瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件 水温:25℃ 給湯器温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開) 〔比例制御式〕最低必要水圧:A+0.10MPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ
- 〔給湯・給水圧力〕最低必要水圧:A+80.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- ② レバーハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃以下の設定をおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は改造(加工および接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ シャワーホースを伝って水がキャビネット内に浸入するおそれがあります。水受けトレイの設置をしてください。 ⑪ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

2ページ

取り付け完成図と各部の名称 / 分解図



2 固定ナット 3 カートリッジ 4 吐水口 5 六角穴付ねじ 本体 7 プラク 8 シートパッキン パッキン 10 スリップ板 11 割付ナット 12 ブレードホース 保護キャップ 14 クイックファスナー 15 ジョイント 16 逆止弁 17 パッキン 18 カプラー 19 シャワーホース 20 ストレーナ 21 シャワーヘッド 22 シャワーフェイス 23 パッキン

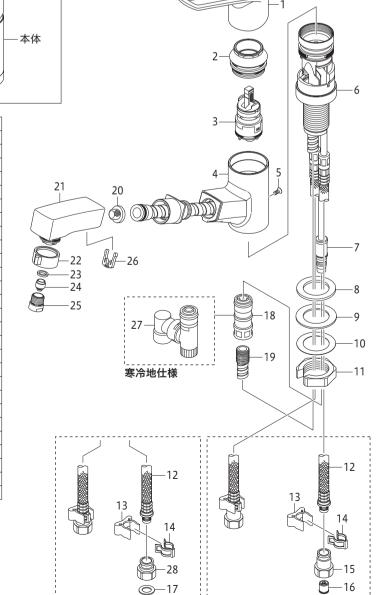
|24||泡まつ器

26 クリップ

25 吐水口金具

28 ジョイント

27 水抜き付カプラー



取り付け手順

|1/給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内の清掃をしてください。

´止水栓(別売)の取り付け

給湯管と給水管の間隔は100mm程度で取り付けます。水受けタンクまたはトレーを設置する場合は、 水受けタンクまたはトレーの寸法をご確認の上取り付けてください。

止水栓はストレーナ付が最適です。 寒冷地用は水抜き栓付き止水栓を取り付けてください。

ストレーナ付 止水栓

水抜き栓付 止水栓 **P**





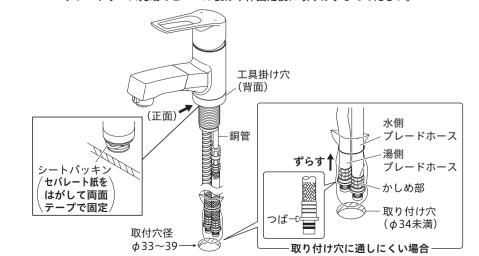
① 取り付け穴周囲の汚れを取り除いたあと、本体に貼り付けてあるシートパッキン下面のセパレート 紙をはがし、湯水ブレードホースの先端にビニール袋が付いた状態で、工具掛け穴が真後ろにくる ように本体を差し込みます。(工具掛け穴の反対側が正面です)

ブレードホースが取り付け穴を通しにくい場合(取付穴径の目安: ϕ 34未満)は、湯側ブレードホー スのつばを水側ブレードホースのかしめ部までずらして取り付け穴に差し込んでください。

【△注意】セパレート紙は必ずはがしてください。セパレート紙をはがさず固定した場合、本体が緩ん だり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 はっ水コーティングが施してあるため、シートパッキンが本体からはがれやすくなっていま す。シートパッキンが本体からはがれた場合は、本体底面にはみ出さないように貼り直して ください。カウンターに貼り付いた場合は、シートパッキンがはみ出さない位置に本体を差 し込み固定してください。シートパッキンがずれたり、はがれた状態で取り付けますと、漏 水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【お願い】・取り付け穴にブレードホースが2本同時に通しにくい場合、必ず、湯水どちらかのブレー ドホースのつばをもう一方のブレードホースのかしめ部までずらした状態で差し込んでください。この時、ブレードホースと銅管は無理に曲げないでください。

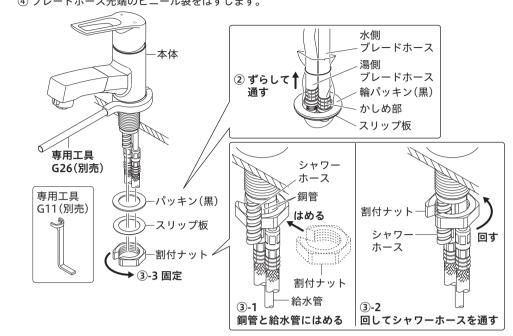
・ブレードホース先端のビニール袋は本体固定後に取りはずしてください。



逆止弁無仕様

取り付け手順2

- ② 輪パッキン(黒)の下にスリップ板を重ね、ブレードホースに通します。
 - 湯側ブレードホースのつばを水側ブレードホースのかしめ部までずらした状態で通してください。 ③ 割付ナットを横から銅管と給水管にはめてから、割付ナットを回してシャワーホースを通し、上に
 - 上げて締め付け、本体を固定します。 【 注意】・シャワーホースは最後に割付ナットに通してください。
 - シャワーホースがねじれ、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ・専用工具G26(別売)を使用して本体を保持してください。
 - シャワーヘッドや吐水口やレバーハンドルを持って締め付けますと破損し、漏水のおそれ がありますのでこれらは持たないでください。
 - ・割付ナットの締め付けは、専用工具G11(別売)で確実に行ってください。 しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財な どを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - ④ ブレードホース先端のビニール袋をはずします。



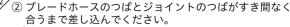
゙止水栓との接続(逆止弁付仕様、逆止弁無し仕様共、接続方法は同じです。)

① ジョイントを止水栓に接続します。

【____注意】

- ・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。 締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。
- 締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。 ・薄肉の接続管(ニップル等)にはジョイントを接続しないでください。
- パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
- ・止水栓がしっかり固定されていることを確認してください。 固定されていないとブレードホースが抜け、漏水の原因となります。

5ページ

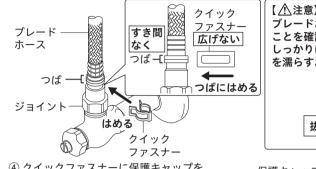


【<u></u>注意】

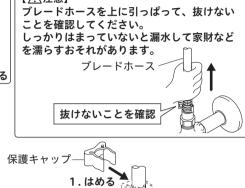
- ・ブレードホースはR60以上の大きな曲げ半径になるよう に曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げ たりしないでください。(A図)
 - 急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏 ジョイント 水して家財などを濡らすおそれがあります。
- ・上下戻り配管はやめてください。(B図) ウォーターハンマーなどでブレードホースが振動した際、 屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
- ・ブレードホース同士などへの不要な接触は避けてくださ い。摩耗による外傷で、ホース性能の劣化の可能性があ

【お願い】ブレードホースは切断しないでください。

③ クイックファスナーを、ブレードホースとジョイントのつばにはめます。 【<u></u>注意】



④ クイックファスナーに保護キャップを はめます。 この時、保護キャップは<u>ブレードホー</u> スにはめてから、クイックファスナー までおろします。



2. おろす

クイックファスナー

A図

(6)

ブレード--

ホース

すき間なく

合うまで

差し込む

つば

B図

一度はずしたブレードホースを再接続する場合・----

- ・レバーハンドルを全開吐水状態で湯水に振り、湯側・水側それぞれのブレードホース内の水を 抜いてください。
- ・混合位置でレバーハンドルを開にした状態で、「 4/ 止水栓との接続」に従いブレードホースを 接続してください。

【⚠注意】

ブレードホース内の水を抜かないと、 正しく施工できなかったり、漏水して 家財などを濡らす財産損害発生のおそ れがあります。



ブレードホース ♪水を抜く

ブレードホース

6ページ

取り付け手順3

|5/シャワーホースの接続

① 〔一般地仕様の場合〕カプラーとシャワーホースの接続が緩んでいないか確認してください。 緩んでいる場合はカプラー手締め後、約30度増し締めしてください。

(締め付けトルクの目安は約100N・cm) 〔寒冷地仕様の場合〕水抜き付カプラーとシャワーホースを接続します。 水抜き付カプラー手締め後、約30度増し締めしてください。

(締め付けトルクの目安は約100N・cm)

【<u>↑</u>注意】カプラー等の接続の際は、以下の内容に注意してください。

漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

※カプラーの締め付け不足や締め付け過ぎ ※シャワーホースのセレーション部以外に工具をかけない

※シャワーホースはねじらない

一般地仕様 シャワーホース ここに工具をかける セレーション部 』 ♥しめる ゙カプラー シャワーホース プライヤー等で固定



水抜き付 カプラ

ジョイント

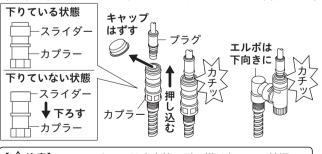
しめる

スパナ等

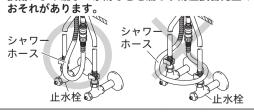
止水栓(別売)

プライヤー等で固定 ② カプラーのキャップをはずし、スライダーを下に下ろしてから、本体のプラグへカチッと音がする まで押し込みます。(スライダーがすでに下りている場合もあります。寒冷地仕様の場合はエルボ

が下向きになっていることを確認します。) 取り付け後、カプラーを引っぱってはずれないことを確認します。



【____注意】シャワーホースは止水栓に引っ掛けないで、給湯・ 給水パイプの間にぶら下げて取り付けてください。 シャワーホースが引き出しにくくなったり、ホース 損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生の おそれがあります。



【 <u>/ ()</u> 注意】 カプラー取り付け後、確実に 接続されているか、以下の確 認を行ってください。 確実に接続されていないと、 漏水して家財などを濡らすお

それがあります。 ・スライダーが上がっている

>]―スライダー カプラー

カプラーを真下に引っぱっ てはずれないこと



シャワーヘッドを引き出し、シャワーホースがスムーズに動くことを確認してください。 洗面台に水受け用 │シャワーホースの出し入れを繰り返しても確実にタンクに収まるようにしてく

タンクがある場合 ださい。(ホースとの接続の銅管部を少し曲げることにより調節できます。)

^{│6}╱タグ説明書の取り付け

使用方法タグ説明書を製品に吊り下げてください。

取り付け後の点検と清掃

|通水確認

[/ 注意] 水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から 水漏れがないことを確認してください。 確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ストレーナ・泡まつ器・シャワーフェイス清掃のお願い

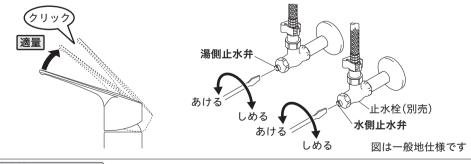
シャワーヘッドのストレーナ・泡まつ器・シャワーフェイスにゴミ等がつまりますと、吐水量が減った り、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

■ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

止水栓による流量の調節方法

止水栓による流量の調節は下記の方法で行ってください。

レバーハンドルのクリック手前で適量(湯側・水側それぞれが5L/min程度)になるように止水弁で調 節します。水圧が低く、クリック手前で適量が得られない場合は、止水弁を全開にしてください。



本体貼付シールについて

はっ水コーティングが施してあるため、シールがはがれやすくなっています。 シール貼付部を強くこすると、シールがはがれるおそれがありますのでご注意ください。

故障かなと思ったら・・・

修理を依頼される前にお確かめください。

取扱説明書「故障かなと思ったら…」参照

[水栓本体内部のメンテナンスをする場合]

[____注意] ・修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。 水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。 ・メンテナンスは、専用工具G26(別売)を使用して本体を保持しながら行ってください。 シャワーヘッドやレバーハンドルを持ってはずしますと破損し、漏水のおそれがありますので、 これらは持たないでください。